

プログラム構成

症例

「BRAFV600E変異が検出され分子標的治療を  
された扁平上皮肺癌の1例」

症例は60代女性。  
BRAFV600E陽性の扁平上皮肺癌と診断され、ダブ  
ラフェニブ、トラメチニブが奏効した。扁平上皮癌  
では遺伝子変異の頻度が少ないとされるが、扁平上  
皮癌でもマルチ遺伝子検査の必要性が再認識された。

金沢大学呼吸器内科

座長 特任助教 寺田七朗 先生  
発表 医員 上田 宰 先生



特別講演

「核医学がん治療は個別化医療なんです」

昨今、放射性医薬品を用いる悪性腫瘍治療は  
theranosticsと表現されます。  
画像で薬剤集積を確認し、治療に移行します。  
したがって、化学療法などより高い奏効率を  
発揮します。  
現在、種々の癌腫で有効な治療が開発されつつ  
あります。

金沢大学核医学診療科 教授 絹谷清剛 先生

申込み方法

参加希望者は、**11月27日(月)**までに  
下記のURL、又はQRコードからお申し込みく  
ださい。

<https://ws.formzu.net/fgen/S180860125/>

【参加申込みフォーム】



# 次世代北信がんプロ 第1回オンコロジーセミナー

大学院生・がん診療連携拠点病院・地域がん診療推進病院等の医師・  
薬剤師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

北信がんプロe-learning講義対象の演習です

開催日時

2023. **11.29** Wed

18:00-19:30

(ZOOMによるオンライン開催)

問い合わせ先

次世代北信がんプロ事務局

〒920-8640

金沢市宝町13-1

TEL : 076 (265) 2886

E-mail : [gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

HP : <https://gan-pro.net/>

ご不明な点は所属大学の学務担当係、又は  
北信がんプロ事務局にお問い合わせください。